



SAP Ariba ▾

フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータ プライバシー要件

Gita Kapur, SAP Ariba

一般提供予定: 2018 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

新機能: フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータプライバシー要件

お客様の課題

新しく設計された UI により、お客様にとっての価値を付加する複数の機能においてユーザーの操作性が全体的に向上します。応答性に優れた最新の UI により、ユーザーはさまざまなパネルを柔軟に設定してワークスペースの表示を改良することができます。また、この UI により、合理化された設計とテスト手法が最適化されます。

ソリューション領域

この機能は以下で使用できます。

- SAP Ariba Buying and Invoicing
- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Invoice Management
- SAP Ariba Contract Invoicing
- SAP Ariba Catalog

SAP Ariba での課題に対応

テストと設計のための新しいタブでは、より合理的な手法が可能になり、ユーザーはフォームを設計しながらフォームの機能を簡単にテストすることができます。データを個人としてマークする機能は、データプライバシーに関する新しい GDPR 要件に準拠しています。

実装に関する情報

この機能は、該当するソリューションを導入しているすべてのお客様に対して有効化されており、すぐに使用できるようになっています。

実現される主なメリット

新しいデザインのユーザーインターフェイス変更には以下が含まれます。

- フォームビルダの最上部セクションでは、拡張された検索機能と共に新しい改善されたフォーム選択セクションが利用可能
- 承認されたワークフローが [設計] タブに追加
- フォームデザインをテストするための新しい [テスト] タブ
- [データテーブル] ウィジェットの拡張
- フォームデザインで個人データをマークする機能

前提条件および制限事項

[テスト] タブでは、フォームデザインを申請者ビューでテストする際に、[地域情報] および [通貨] フィールドを変更することはできません。フォームの承認者ビューではどのフィールドも変更することはできません。

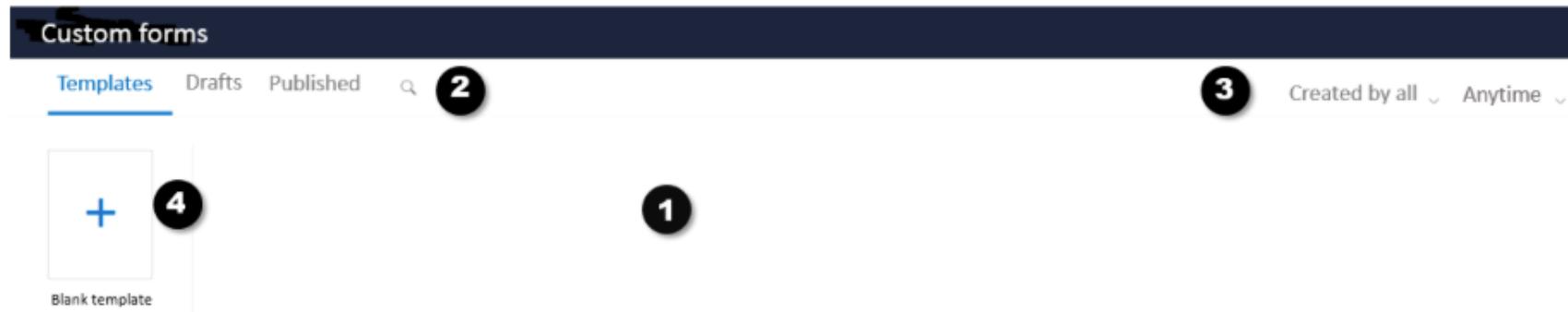
フォームデザインをテストする際に、承認者グループを選択する場合は、グループの最初の承認者が通常設定によって選択されます。フォームデザインはグループの最初の承認者に対してのみテストすることができます。フォームデザインをグループの他の承認者に対してテストすることはできません。

機能の概要

新機能: フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータプライバシー要件

新しい改善されたフォーム選択セクション

パネルサイズが設定可能で応答性に優れた UI



詳細な機能情報

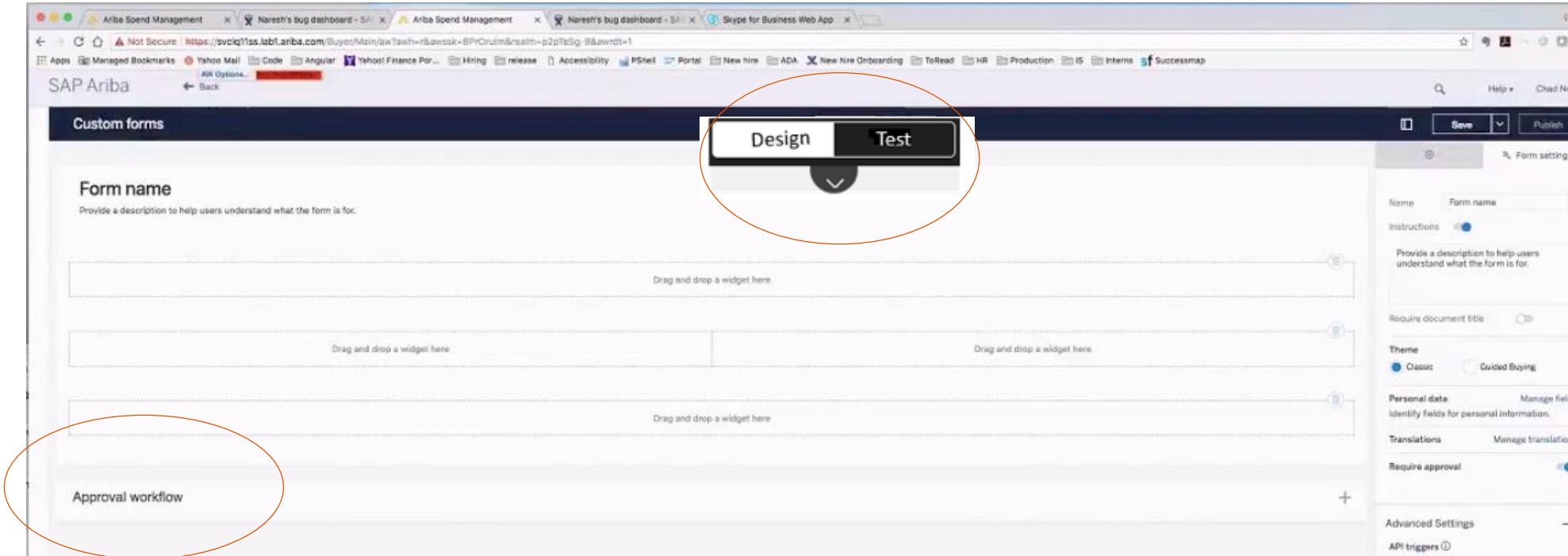
新しい UI パネルでは、画面の要素を柔軟に使用することができるため、ワークスペースデザインを改良することができます。ユーザーはさまざまなパネルを使用して、それらのサイズを調整したり、非表示にしたりすることもできます。図に続くテキストでは、新しいフォーム選択セクションの各領域が説明されます。

1. フォームデザイナの最上部セクションには、テンプレート、ドラフト、およびパブリッシュ済みフォームが表示されます。利用可能なテンプレート、ドラフト、およびパブリッシュ済みフォームを表示するには、それぞれのリンクをクリックします。
2. 最上部セクションの検索フィールドでは、テンプレート、ドラフト、またはパブリッシュ済みフォームをタイトルで検索することができます。
3. フォームデザインの作成者およびフォームの作成日時に基づいて、フィルタオプションを使用して検索結果を絞り込みます。
4. フォームデザインは、空のテンプレートから作成します。

機能の概要

新機能: フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータプライバシー要件

新しい [設計] タブと [テスト] タブ



フォーム選択セクションに移動して既存のテンプレート、ドラフト、パブリッシュ済みフォームを表示するには、[設計] タブと [テスト] タブに付属する下矢印をクリックします。

ユーザーは、新しい [テスト] タブを使用して、フォームをパブリッシュする前にフィールドレベルで任意の条件をテストすることができます。これにより、明確かつ簡単にナビゲートすることができます。フォームを設計しながら、フォームに作成した任意の条件をすぐにテストすることができます。以前の設計では、フォームをテストするにはフォームをパブリッシュおよび有効化する必要がありました。

設計およびテストの承認ワークフロー プロセスは、同じアプローチに従います。

機能の概要

新機能: フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータプライバシー要件

データテーブルウィジェットの拡張

データテーブルウィジェットに、新しい列の種類 [添付ファイル] が追加されました。

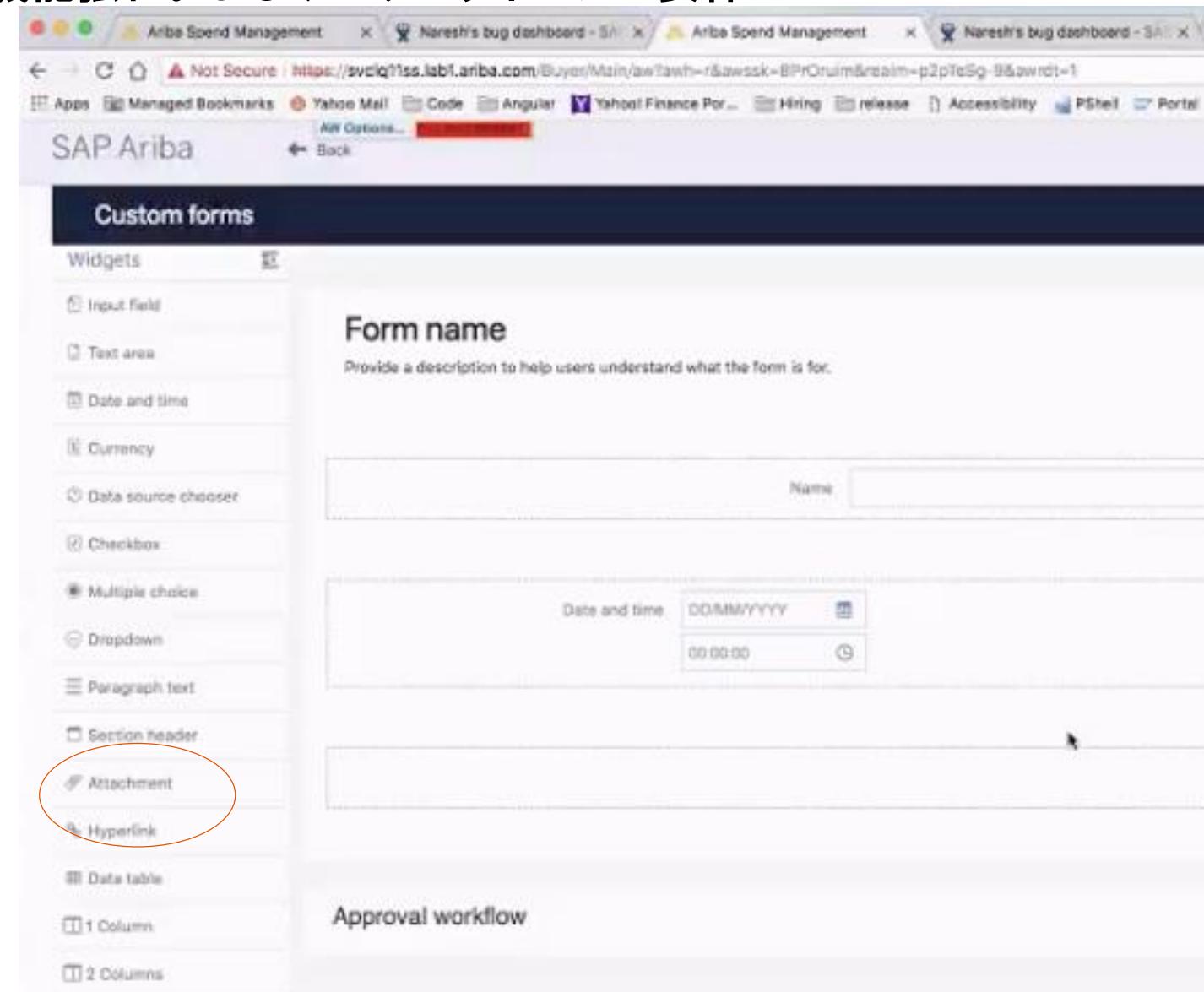
ユーザーは、フォームドキュメントを提出する前に [添付ファイル] 列でファイルをアップロードすることができます。

[添付ファイル] 列を選択すると、左側のテーブルに [ファイルのアップロード] ボタンがインジケータとして表示されます。[添付ファイル] 列では、各行に 1 つのファイルをアップロードすることができます。1 つの添付ファイルの最大サイズは 10 MB です。

サポートされるファイルの種類は次のとおりです:

BMP, CAD, DOC, DOCX, GIF, JPG, JPEG, MPEG, MSG, PDF, PNG, RTF, TIF, TXT, WAV, XLS, XLSX, EML、および ZIP。

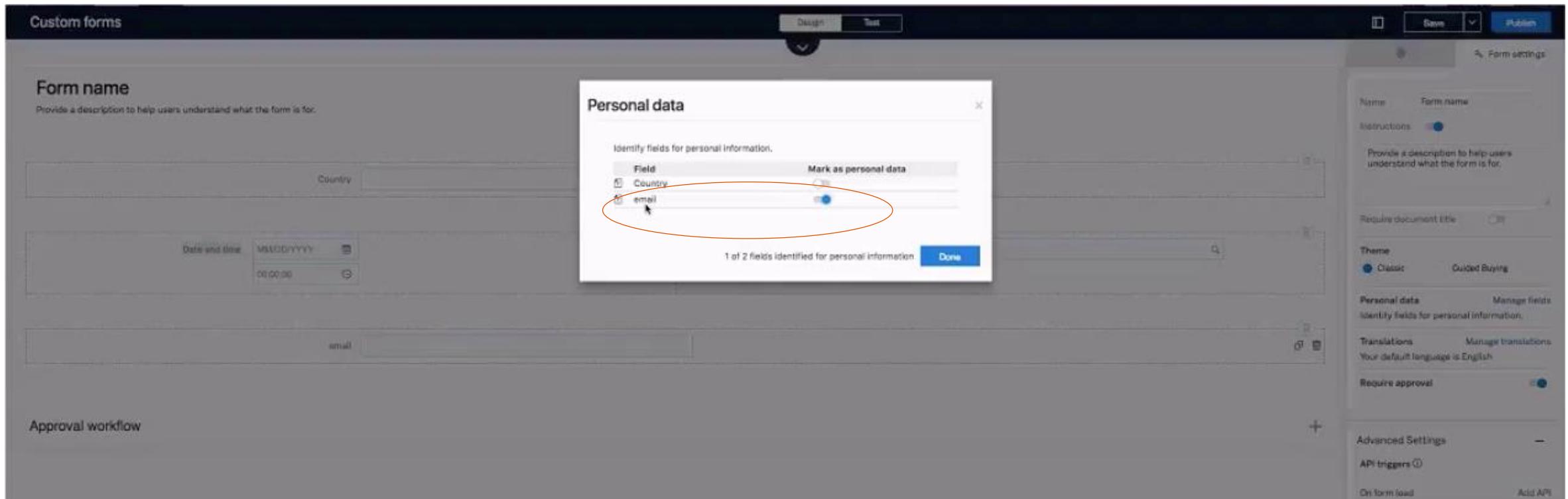
添付ファイル列があるテーブルを含むフォームドキュメントを作成すると、対応する行に [ファイルのアップロード] ボタンが表示されます。[ファイルのアップロード] をクリックしてウィンドウを開き、アップロードするファイルを選択して [OK] をクリックします。



機能の概要

新機能: フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータプライバシー要件

フォームデザインで個人データをマークする機能



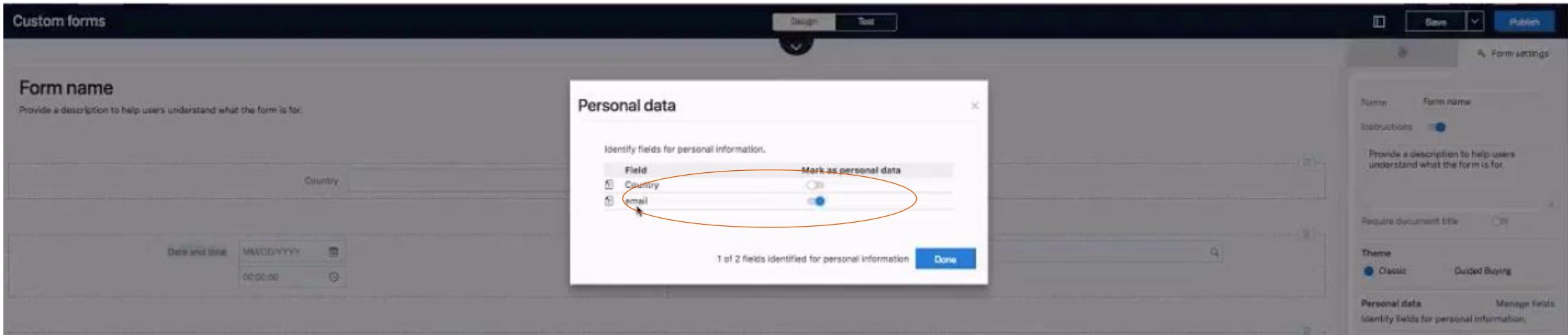
各フォームデザインの [フォーム設定] タブには [個人データ] セクションが含まれています。このセクションで [フィールドの管理] をクリックすると、個人情報のすべてのフィールドを指定するウィンドウが表示されます。このオプションが含まれるフォームウィジェットは次のとおりです: 入力フィールド、テキスト領域、チェックボックス、プルダウンリスト、およびラジオボタン。

個人データとして指定されたフィールドは、暗号化されてデータベースに格納されます。

機能の概要

新機能: フォームビルダの操作性に関する機能強化およびデータプライバシー要件

フォームデザインで個人データをマークする機能



既存のフィールドの個人データ設定を更新するには、パブリッシュ済みフォームの新しいバージョンを作成します。パブリッシュ済みフォームを元のバージョンに再設定する場合、既存のフィールドの個人データ設定を変更することはできませんが、新しいフィールドを個人情報としてマークすることができます。

[フォームおよび拡張マネージャ] ワークスペースの監査ログには、個人データフィールドに対する操作が記録されます。個人情報が含まれるフォームドキュメントをユーザーが提出または削除すると、監査ログファイルが更新されます。ユーザーが個人データを更新するか、添付ファイルをダウンロードすると、それらのイベントも監査ログに記録されます。管理者は、監査のために監査ログファイルをダウンロードすることができます。

Ariba システム管理者で [監査ログのダウンロード] リンクをクリックすると、管理者は監査ログファイルをダウンロードすることができます。

Ariba システム管理者でフォームドキュメントをエクスポートする際 (処理 [レポート] を選択)、ドキュメントに個人データフィールドが含まれる場合、CSV エクスポートファイルにはそれらのフィールドが含まれます。

付録 (スライド 2 の完成後、デッキから削除)

アイコンを 1 つとその意味を示す用語 ●●●
を含めます:

実装の難易度

- ハイタッチ
- やや複雑
- ロータッチ/容易

ハイタッチ – Ariba サービス

やや複雑 – SR 必須

ロータッチ/容易 – 各自で有効化

関連する地域

- グローバル
- 地域
- 国限定

*地域限定または国限定の場合、スライド 2 の上部にある図形の下の地域/国を示します。

例:

実装の難易度



ロータッチ/容易

関連する地域



グローバル